



チーム一丸、中原の暑い夏！

三養基・神埼地区中学校総合体育大会

7月2日（土）、3日（日）の2日間で、令和4年度の三養基・神埼地区中学校総合体育大会が開催されました。猛暑で熱中症が心配される中、中原中の生徒たちの最後の1球、1本、1秒まで戦い抜く姿を見て、久しぶりに感動することができました。団体では、卓球男子が見事優勝、剣道女子が3位（以上、県大会出場）、ソフトテニスが3位に輝きました。また、個人戦でも、ソフトテニスの吉村・山崎ペアが準優勝したのをはじめ、卓球男子が3名（3位濱田さん、5位大塚さん、6位藤田さん）入賞し、県大会出場（7/23,24）を決めました。本当におめでとうございます。

惜しくも県大会出場がかなわず、悔しい思いをした生徒もいます。特に、3年生はこれが中学校生活で最後の大会となるので、その思いもひとしおだったことでしょう。7月11日（月）の全校朝会では、そんな皆さんを念頭に「**模擬人生**」ということばを贈りました。部活動やひいては学校生活で体験することは、勝とうが負けようが、うまくいこうがいくまいが、すべて「**模擬人生**」＝（その後の本当の人生のために、本番と同じつもりで取り組むこと）であり、無駄なものはない。自分が立てた目標にどれだけ迫れたか、挑戦できたかを振り返ることが大事だと話しました。

今回の結果を受けて、「信じてやり続けてよかった」と思う人は、何事をするにもそのことが自分の心の支えになることでしょう。もし、「もっとあの時こうしていればよかった」と悔やんでいる人がいるのなら、そのことから逃げずに、次の目標に歩み出すときに教訓としてほしいと思います。多様な経験は人生の幅を広げてくれます。

地区大会のなかった陸上（7/16）、水泳（7/17）、柔道（7/24）の県大会、吹奏楽コンクール（7/23）もこれからです。まだまだ**中原の暑い夏**は続きます。



【6/24：選手推戴式・部活動激励会の1コマ】

自分の進む道は、自分で決める！ - 3年私立高校説明会 -

7月12日（火）、3年生を対象に私立高校説明会を開催しました。県立高校については、去る6月10日（金）にオンデマンド形式で実施しましたが、今回は佐賀地区・筑後地区の私立高校7校の先生方を学校にお招きし、対面形式で各校の説明を直接聞くことができました。3年生保護者の参観もあり、真剣に高校の先生方の説明に耳を傾ける姿に、いよいよ進路選択に向けて本番モードといった感じがしました。

3年生の皆さん、自分の目標をできるだけ早く定めることが大事です。自分が何をしているときが一番自分らしいか、周りの意見を参考にしながらも、最後は自分で決めること。そして、その目標を見失わず、少しずつ歩み続けること。そうすれば、きっと道は開けます。応援しています！



【生徒はもとより保護者の皆様も真剣です】

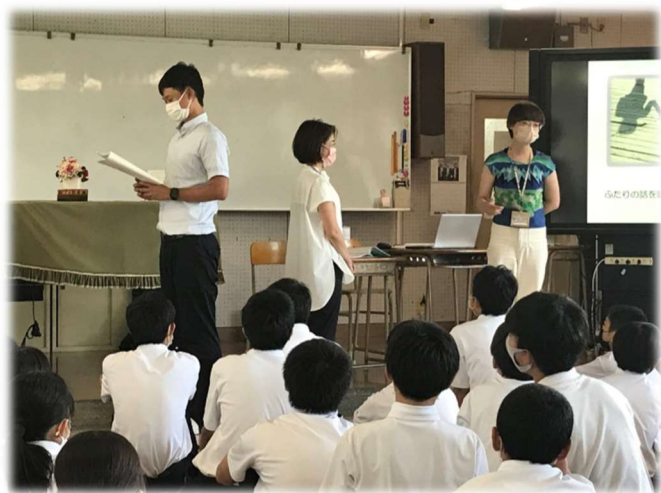
あなたの嫌が伝わりますか

CAP子どもワークショップ

7月8日(金)、NPO法人「にじいろグループ」の田原さんから2名に来校していただき、1年生を対象に「CAP子どもワークショップ」を開催しました。

今回は、若いカップルの間で起きる暴力的な支配関係(いわゆるデートDV)の予防を通して、人間関係づくりを学ぶ『さくらんぼプログラム』を受講しました。

途中、担任の平野教諭が役割演技をする場面もあり、生徒は身近な題材の中にも相手を傷つけたり、支配的に考えてしまったりするケースがあることを真剣なまなざしで学習していました。



【平野教諭も加わった役割演技を食い入るように見る1年生】

私は、スタッフの方の「自分をデザインすることができるのが思春期」という言葉がとても印象に残りました。友達や好きな人とは、気持ちが楽になる『特別な関係』になるべきで、自分の勝手な思いをぶつけるのではなく、相手の気持ちを考えて発言することの重要性、自分自身のSOSを大事にし、一人で悩まず、誰かと一緒に考えていくことが大切であることを改めて考えさせられるプログラムでした。

(生徒の感想から)

- 嫌なことはしっかり『嫌だ』ということが大切だと分かった。自分のSOSに気づき、手当してあげようと思う。
- 話を聞いてとても心強くなって、他の人が困っていたら私も助けたいと改めて思った。

挨拶運動クラスマッチ

最近、朝の校門付近では、各クラスのメンバー全員が日替わりで挨拶運動に立ち、下の写真のような光景が見られます。



聞けば、生徒会の生活委員会が主催する「挨拶運動クラスマッチ」が展開されているとのことでした。

生活委員長・副委員長のリードのもと、元気よく「おはようございます」と登校する生徒一人一人に声をかけていきます。この日ばかりは…と、いつもより5分、10分早く登校し、挨拶運動に参加する生徒(先生?)もありました。中には約束の時間に遅れてしまった生徒が恥ずかしそうに急ぎ足で自転車を押す姿もあり、何とも微笑ましい朝のひと時となっています。

折々の魚たち③ タナバタウオ

今回は、地域性も全くないのですが、季節にちなんでタナバタウオを紹介します。写真のとおり、七夕のイメージのかけらもないような地味なお魚です。

それなのになぜ「タナバタウオ」なのか、顔の周りの斑点を星になぞらえたのか…。かなり調べましたが、よくわかりません。特に今の時期が旬の魚でもないようです。

もうすぐ夏休み。知りたいと思うことを思い切り追究・探究する絶好のチャンスです。何か一つでも、解明すれば、それが自分自身の強みになるかもしれません。191人がそれぞれの「なぜ」を見つけるそんな夏となりますように…。